



箭山

夢実現

自己の課題に向き合い
解決を目指し
行動できる生徒の育成

三光中通信
第5号
令和6年 7月1日(月)
校長 今長 博文

「命を守る行動」について考えよう

先週の金曜日は、九州北部に線状降水帯が発生するとの予報で、臨時休校となりました。夜間に大雨が降り、山国川や犬丸川も水位が上昇していました。皆さんのおうちに被害はありませんでしたか？ 近年、7月上旬に、このような状況が続いており、2012年7月と2017年7月に発生した九州北部豪雨による被害を思い出させる事態となっています。この豪雨に対して、大雨特別警報が出され、「命を守る行動を」との呼びかけが繰り返されました。今一度、「命を守る行動」とはどんなことかを真剣に考え、準備しなければなりません。昨年7月、佐伯市の川で友人と遊んでいた中学2年生の男子生徒が溺れて亡くなるという事故が起きました。夏になるとこのような水難事故が多く報道されます。この中津市でも過去に以下のような事故が起きています。

* 2014年7月28日～山国川で中学2年男子生徒が溺れ、近くにいた人に救助されたが、意識不明。

ドクターヘリで運ばれ、数週間の治療を経て一命を取り留めた。

* 2004年7月18日～山国川で小学校4年生が流され、40分後に発見されたが亡くなった。

* 2002年6月22日～中津田尻港で中学3年生が堤防から転落し、レスキュー隊が出動して引き上げるも病院で亡くなった。

水難事故だけでなく、自転車事故で中津市の中学生が亡くなる事故も過去にありました。

* 2004年7月17日～八面山の下り坂で自転車を二人乗りしていた中学2年女子生徒が転倒し、後部に乗っていた生徒が頭部を打って亡くなった。ヘルメットはしていなかった。

どの事故も一人ではなく、仲間ともに遊んでいて起きています。仲間がいると開放的な気持ちになり、「これくらい大丈夫だろう」という油断が生まれてしまいがちです。一瞬の油断でたった一つの大事な命を亡くしてしまいます。仲の良い友だちが帰らぬ人となってしまいます。胸が引き裂かれるほど悲しいことです。皆さんに訴えます。「命の大切さ」「自然の怖さ」を自分のこととして真剣に受け止め、考えて行動してください。もうすぐ夏休みになります。涼を求めて、川に近づくことがあるかもしれませんが、しかし、遊泳禁止の看板がなくても、川での水遊びや泳ぎは危険です。絶対にやめましょう。

災害時だけでなく、日常の生活の中でも「命を守る行動を」ということを意識して、過ごしてほしいと願っています。



保護者の皆様へ

夏休みになると、子どもたちの学校外の活動が増えます。学校では「夏休みの生活について」を使って、危険回避などの指導をおこなっていきませんが、もしも地域で子どもたちが危険性のある行動（水の事故、自転車の乗り方など）をしていましたら、声かけをお願いします。声かけがにくい状況であれば、学校へご連絡をお願いいたします。

【今後の予定】

- 7月6日(土) 学校公開日
ネットモラル出前授業
- 8日(月) 振替休業日
- 9日(火) 三光あいさつの日
- 12日(金) 生徒会役員選挙
- 19日(金) 1学期終業式
- 8月6日(火) 平和授業・登校日
- 26日(月) 2学期始業式